



宝塚市は CO₂排出を「2030 年までに半分、2050 年までにゼロ」を目標にしています！市が率先して取り組むことが重要です！

令和 7 年（2025 年）10 月 20 日
環境エネルギー課（EMS 事務局）

令和 6 年度（2024 年度）事務事業における温室効果ガス排出量について（報告）

1 宝塚市の環境マネジメント

市の事務事業においては、環境マネジメントシステムを運用し、省エネルギー・省資源を推進するとともに、令和 4 年度 6 月に策定した ECO オフィスプラン【第 2 次宝塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）】に基づき、取組を行っています。

同計画では、2030 年度の温室効果ガス排出量削減目標を 2013 年度比 50%としており、その達成に向けて計画で掲げる 5 つの基本方針に基づき取組を進めています。

2 令和 6 年度（2024 年度）の目標達成状況

各燃料、エネルギー等の 2030 年度目標は、各燃料等の使用量の実績や用途、社会情勢等を勘案して設定しています。2024 年度の目標値は、2020 年度実績値と 2030 年度目標値をもとに設定しました。

（1）使用量等

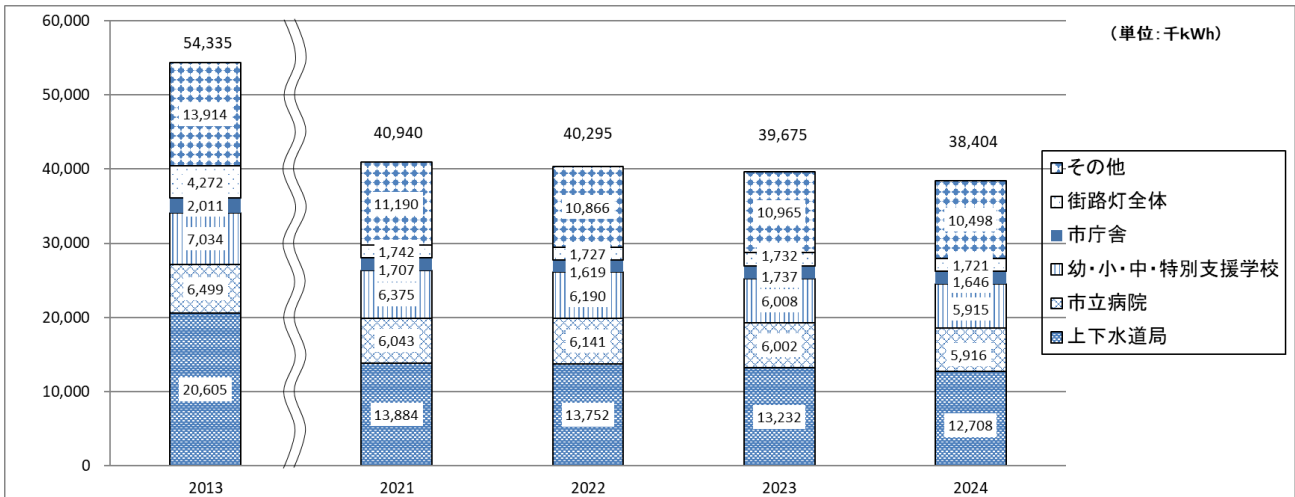
2024 年度の実績値のうち、2024 年度目標を達成したのは、灯油、軽油、重油、液化石油ガス、電気となっています（表 1 参照）。

なお、電気使用量は、前年度比 3.2%減、2013 年度基準値比は、29.3%減となりました。減少要因としては、クリーンセンターの新ごみ処理施設整備に伴う既存施設の解体の影響などが挙げられます。主な施設の電気使用量は、上下水道局が最も多く（33.1%）、次に市立病院（15.4%）、学校園（15.4%）となっています（図 1 参照）。

表 1 使用量等

種別	単位	2013 年度 基準値	2022 年度 実績値	2023 年度 実績値	2024 年度		2030 年度 目標値
					実績値	目標値	
紙購入量(A4換算)	枚	—	46,572,697	44,570,815	45,368,441	—	—
水	m ³	—	516,450	553,128	544,860	—	—
ガソリン	L	133,457	128,289	126,066	125,057	94,839	62,384
灯油	L	146,616	121,376	90,842	123,731	144,466	144,466
軽油	L	66,073	63,918	56,200	57,280	58,514	55,429
重油	L	1,300	0	0	200	723	723
液化石油ガス(LPG)	kg	14,488	13,955	13,118	13,153	13,604	13,579
都市ガス(自動車燃料含む)	m ³	2,793,414	2,657,759	2,542,398	2,683,586	2,564,225	2,341,638
電気	kWh	54,335,040	40,295,317	39,675,440	38,403,734	39,713,289	36,922,810
自動車走行距離	km	1,255,346	1,066,753	1,057,509	1,130,271	1,022,323	1,022,099

図 1 主な施設の電気使用量



(2) 温室効果ガス排出量

2024 年度実績値のうち、2024 年度目標を達成したのは、灯油、軽油、重油、液化石油ガス、自動車走行分となっています（表 2 参照）。

2024 年度の総排出量は前年度比 10.5%増となりました。市の事務事業から排出される温室効果ガスは電気使用によるものが約 7 割を占め、電気使用量としては、前年度比 3.2%減少したものの、二酸化炭素排出係数が増加（0.36→0.419）したため、年度目標値は未達成となりました。

表 2 温室効果ガス（CO₂ 換算）排出量 単位：kg-CO₂

種別	2013 年度 基準値	2022 年度 実績値	2023 年度 実績値	2024 年度		2030 年度 目標値
				実績値	目標値	
ガソリン	309,839	297,844	292,682	290,339	220,183	144,834
灯油	364,999	302,164	226,150	308,025	359,645	359,645
軽油	170,797	165,225	145,274	148,067	151,257	143,281
重油	3,523	0	0	542	1,959	1,959
液化石油ガス(LPG)	43,449	41,850	39,340	39,445	40,797	40,721
都市ガス(自動車燃料を含む)	6,034,460	5,738,704	5,489,614	5,751,865	5,435,865	4,803,895
電気	16,898,197	12,048,300	14,283,158	16,091,165	11,046,413	6,413,492
自動車走行距離	13,404	12,194	12,085	11,297	11,475	11,337
温室効果ガス(CO ₂ 換算) 排出量	23,838,668	18,606,281	20,488,303	22,640,745	17,267,594	11,919,164
				2013 年度比 ▲5.0%	2013 年度比 ▲27.6%	2013 年度比 ▲50%

電気に係る温室効果ガス排出量（CO₂ 換算）の算出方法

ECO オフィスプラン【第 2 次宝塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）】においては、電気に係る温室効果ガス排出量（CO₂ 換算）の算出方法を見直し、使用する二酸化炭素排出係数を、2010 年度数値（0.29）固定から、年度ごとの排出係数（変動）としました。なお、2022 年度は 0.29、2023 年度は 0.36、2024 年度は 0.419 を使用しています。

3 今後の方向と取組

市の事務事業による温室効果ガス排出量は、市域全体での排出量の約 3.4%を占めており、市が率先してその排出を抑制することが求められています。ECO オフィスプラン【第 2 次宝塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）】では、国の地球温暖化対策計画の削減目標等を勘案し、削減目標値を 2030 年度までに 2013 年度比で 50%削減すると設定しています。この高い目標を達成するために、国交付金の獲得により 2023 年度から 6 か年に渡り「重点対策加速化事業」を実施し、公共施設における LED 化や高効率空調設備導入を行い、脱炭素化を推進しています。

また、2025 年度からは、公共施設における電力調達について、再エネ電力の調達と歳出の削減を目的としたリバースオークションの手法を導入することにより、公共施設において再生可能エネルギー30%以上の低炭素な電力の使用を推進し、さらなる脱炭素に向けて取り組んでいます。

さらに、今後、施設の省エネ化や太陽光発電設備の導入などを目指していきます。各職員におかれましても、さらなる環境配慮の意識を高めていただき、日々の業務の中で省エネ実践の継続をお願いします。

引き続き、たからづかのエコチェックによる環境マネジメントを行うとともに、地球温暖化対策推進庁内検討会や環境推進調整会議においても、情報を共有し、意見を交換し、全庁的な体制で省エネルギー・省資源を進めていきます。